

東彼杵中学校校長だより（令和2年7月17日：金 配信）

その13「生徒会総会」（7/16：木） * 応援の気持ちを込めた校長あいさつをUPしています。

本会もライブ配信で行いました。先日、栗本生徒会長から、本会でのあいさつを依頼されました。その時、会長の生徒会総会に向けた思いの中で「学校生活をよりよくする。」という言葉に大変感動しました。中学3年生が、176人の学校生活をこんなにも大切に考えている。その純粋な気持ちに心を打たれました。校長として同じ熱意を持っているのかと、自分自身に問い直しました。たくましい会長、そして頼もしい生徒会本部役員と頼れる生徒会会員である全校生徒の活動を応援していきます。保護者の皆様も子どもたちの自治活動の見守りと応援をお願いします。



その14「PTA評議員会」（7/16：木）

感染症拡大と大雨により延期していた本会の開催にやっとたどり着きました。2学期からを目途に本年度のPTA活動を様々に実施していきます。その足掛かりとなる会でした。子どもたちは生徒会活動、保護者の皆様はPTA活動。どうぞよろしくをお願いします。

その15「全国学力学習状況調査、県学力調査…これからの時代に求められる力」（7/17：金）

3年生は、全国学力・学習状況調査（国語、数学）と県学力調査（英語）です。2年生は、県学力調査（国語、数学）です。4月の実施予定日が休校となって今日行いました。これらの調査は内容こそテストですが、学校で学んだ知識を使って「考える」、「関連付ける」、「導き出す」、「創造する」といった能力を使って答える問題になっています。これからの時代に求められている学力です。漫画でみた世界が現実（AI搭載のロボット）になり、想像もしなかったことが現実（未知のウイルスの脅威）に起こっています。科学技術の進歩は、人々の生活をスマート（知的）にすると同時に、昔の人が想像もしなかった仕事を今の人に創造させるようになりました。ほんの10年前までは、未知の現象に柔軟に対応できる力が求められていましたが、今ではさらに、未知の時代に起こる現象を予想して新たなモノを創り出す力が求められるようになってきています。そのような技術や仕事を創造している人は「好奇心」や「想像力・創造力」、「コミュニケーション力」や「魅力」が高い人たちだそうです。何故だろうと「考える」。答えを出すために知識と情報を「関連付ける」。そこから答えを「導き出し」、あらたなモノを「創り出す」。そして、この工程を一人で行うのではなく、それぞれのスペシャリストに依頼したり、自分の夢を語って賛同する人をひきつけたり、または、そのような人たちの間に入って人と人とを繋いだりする。偉人として有名なエジソンや松下幸之助、本田宗一郎には、想像を具体的な形に創造するエンジニアや経営スタッフなど、彼らの「コミュニケーション力」や「魅力」に引き込まれた仲間がいました。子どもたちの多様性を目指して、「好奇心」や「想像力・創造力」、「コミュニケーション力」や「魅力」を授業や学校生活の中でも育てていきます。

その16「生徒玄関前テント」（7/13：月）

生徒玄関前にテントを二張り設置しました。本校は窓や、昇降口にひさしがないため、屋内に雨が入りやすいのです。また、下足箱前が狭く、傘をさしたまま玄関に入ると大変「密」になります。玄関外に傘をたたむ場所としてテントを設置することで、テント下を通りながら傘をたたむことができるので、玄関で「密」を生じず、スムーズに入ることができます。

